



金沢市

新産業成長  
ビジョン

# 目次

はじめに	_____	1
ビジョンの 基本的な考え方	_____	2
ビジョンの体系	_____	3
<b>戦略 1</b>	デジタルを活用し、「リアル」の 価値をより高め、成長するまち_____	4
<b>戦略 2</b>	外に開かれ、人と人が交わり、 つながり続けるまち_____	5
<b>戦略 3</b>	進取性と多様性を受け入れ、 挑戦を支えるまち_____	6
<b>戦略 4</b>	産学官金の連携により、 人と企業が育ち、集うまち_____	7
<b>戦略 5</b>	金沢の「文化」と「産業」が融合して、 高い付加価値を生み出すまち_____	8
<b>資料編</b>	金沢市新産業成長ビジョン策定に向けて	
	(1) ビジョンの策定経緯_____	9
	(2) 市民や企業等へのヒアリング調査_____	10
	(3) 主なモニタリング指標（目標値）_____	12
	(4) 金沢市新産業成長ビジョン策定委員会_____	13

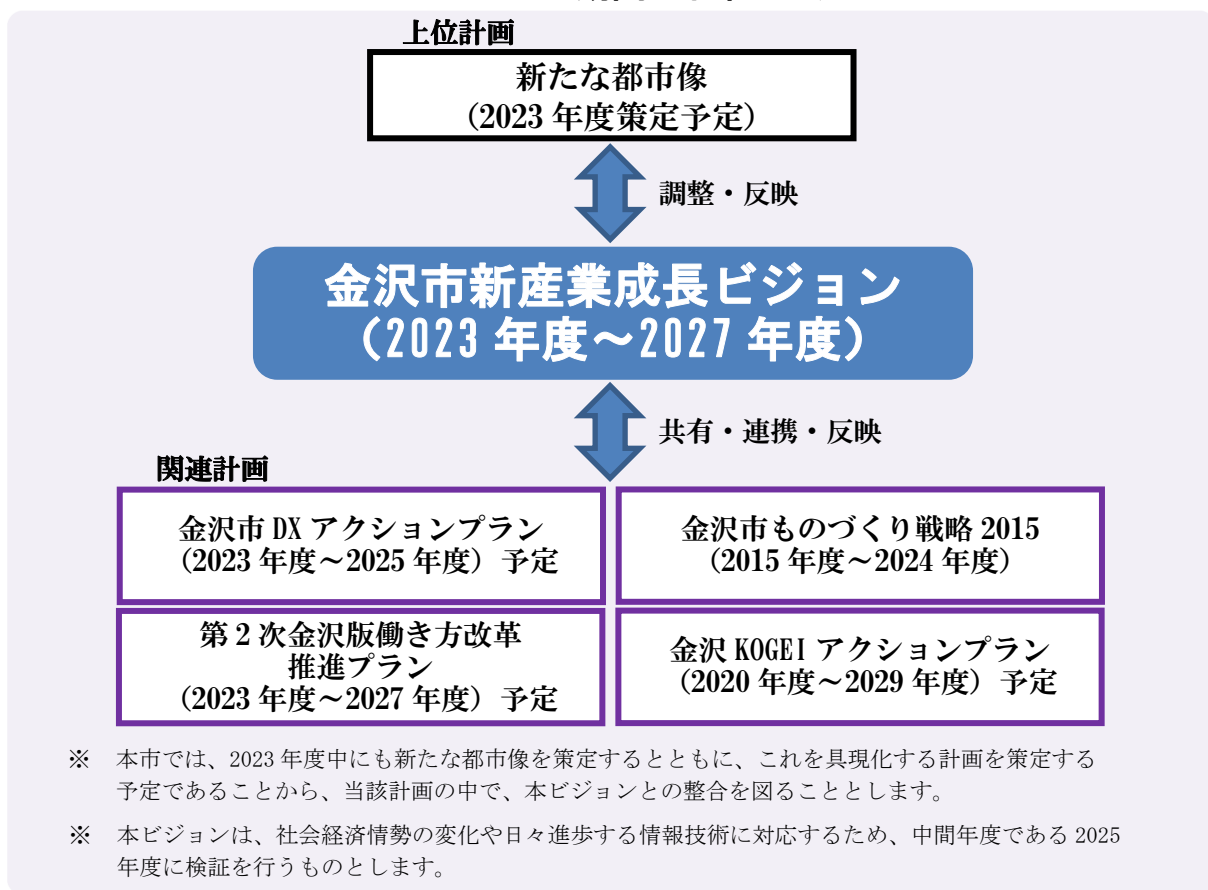


本市では第4次産業革命と言われるAIやIoT、ロボット等による技術革新やグローバル化などの情勢の変化に的確に対応するため、2018年10月に「新産業創出ビジョン」を策定しました。

策定後4年が経過し、その間、新型コロナウイルス感染症の流行、人口減少・少子高齢化社会の進展、円安の進行、物価・エネルギー価格の高騰など社会経済情勢は大きく変化しています。また、「Society5.0」<sup>※1</sup>や「Web3.0」<sup>※2</sup>時代が到来するなど技術革新は日々進展し、国においてもデジタル社会の実現やスタートアップ<sup>※3</sup>の創出に注力するなど、経済再生と成長に向けた動きを加速化しています。その一方で、地域経済においては、デジタル化の導入が進む企業と進まない企業の二極化、労働力人口の減少に伴う産業人材不足、後継者不足等に起因する事業承継問題など新たな社会課題が生じています。

これら様々な状況の変化を受け、本市では、2022年11月に、社会経済情勢や日々、技術革新が進む最先端技術、地域経済における社会課題を踏まえ、世界に誇る文化をはじめとした金沢の個性を生かし、高い付加価値を生み出す新産業の成長・発展に向けて、今後の方向性を示す新たなビジョンを策定するため、「金沢市新産業成長ビジョン策定委員会」を設置し、3回に渡り議論を重ね、2023年3月に「金沢市新産業成長ビジョン」を策定しました。

## ビジョンの期間と位置づけ



※ 本市では、2023年度中にも新たな都市像を策定するとともに、これを具現化する計画を策定する予定であることから、当該計画の中で、本ビジョンとの整合を図ることとします。

※ 本ビジョンは、社会経済情勢の変化や日々進歩する情報技術に対応するため、中間年度である2025年度に検証を行うものとします。

※1 Society5.0………仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

国の「第5期科学技術基本計画」において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

※2 Web3.0………データ・情報の流れが一方向型の第1世代（「Web1.0」）、双方向型の第2世代（「Web2.0」）に続く、分散型台帳・ブロックチェーン技術などを基盤とした次世代のインターネットとされている。

※3 スタートアップ……新しいビジネスモデルにて新たな市場を開拓し、社会に新しい価値を提供し、社会に貢献することで、事業価値を短期間で飛躍的に高め、株式上場などをめざすもの。

# ビジョンの基本的な考え方

新産業成長ビジョンでは、産学官金の連携のもと、「ヒト」「モノ」「技術」「情報」を集積・活用し、進取性※<sup>1</sup>と多様性を受け入れ、新たな挑戦がしやすい環境を構築するとともに、歴史に育まれた本市固有の「文化」と「産業」を融合することで、本物の価値を高め、創造・変革していくまちをめざします。

## めざす姿

**本物の価値を高め、創造・変革していくまち 金沢**



「めざす姿」の実現に向け、5つの戦略に基づき、取り組みを進めます。

※1 進取性…自ら困難な課題に果敢に挑戦すること。

めざす姿

戦略

取組方針

本物の価値を高め、  
創造・変革していくまち  
金沢

【戦略1】  
デジタルを活用し、  
「リアル」の価値を  
より高め、成長するまち

- (1) リアルに集える場でデジタル技術を活用した活動を充実
- (2) 企業活動の創造性や生産性向上につながる取り組みを支援

【戦略2】  
外に開かれ、  
人と人が交わり、  
つながり続けるまち

- (1) 北陸新幹線敦賀延伸等を見据え、最先端技術等を活用し、関係人口を創出・拡大
- (2) クリエイター・デザイナー・アーティスト等多様な人材を集積・活用

【戦略3】  
進取性と多様性を  
受け入れ、  
挑戦を支えるまち

- (1) 若者、女性をはじめとしたスタートアップを支援
- (2) 起業家教育、承継教育、リスキリングを促進

【戦略4】  
産学官金の連携により、  
人と企業が育ち、集うまち

- (1) 若年期からの産業人材を育成
- (2) 金沢未来のまち創造館の活用を推進

【戦略5】  
金沢の「文化」と  
「産業」が融合して、  
高い付加価値を生み出すまち

- (1) 文化的市場の活性化を推進
- (2) 未知の技術や才能を可視化し、活用をプロデュースできる人材を育成

## 戦略1

### デジタルを活用し、「リアル」の価値をより高め、成長するまち

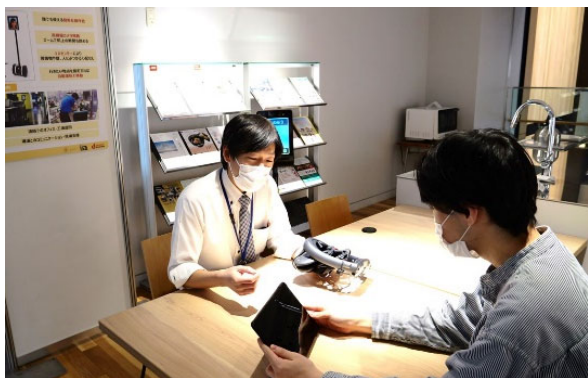
新型コロナウイルス感染症の流行を転機とし、企業の生産性向上、事業継続力強化の観点からデジタル技術活用の重要性が再認識されました。また、世の中の変化を予測しにくい時代だからこそ、企業活動のDX<sup>※1</sup>を進めることで、事業環境の変化に柔軟に対応することが求められています。一方、新たな価値を創造するためには、日々進展するデジタル技術などの最先端技術をツール（手段）として活用し、リアルの世界とデジタルの世界のそれぞれの良さを融合させ、高め合うことが必要とも言われています。「本物」を大切にしてきたまち、金沢だからこそ、「デジタル」を活用し、「リアル」の価値を高め、新たな産業の創出や成長、地域経済の発展、持続可能な社会の構築、ひいては市民生活の向上につなげていきます。

#### 取組方針

- (1) リアルに集える場でデジタル技術を活用した活動を充実
- (2) 企業活動の創造性や生産性向上につながる取り組みを支援

#### 施策イメージ

- 事業者がデジタル技術について身近に相談できる環境整備
- バーチャル（仮想）空間など最先端技術を活用し、現実世界の金沢への来訪を促す仕組みづくりの検討
- デジタルミュージアムの構築



中小企業を対象とした  
デジタル技術に関する相談窓口



バーチャル空間を活用した  
金沢駅鼓門プロジェクションマッピング

#### キーワード

「デジタル技術・最先端技術の活用」「創造性・生産性の向上」「DX化」「働き方改革」  
「持続可能な社会の構築」「市民の利便性向上」

※1 DX (Digital Transformation) …データやデジタル技術を活用し、ビジネスモデルや業務、組織を変革し、競争上の優位を確立すること。



## 戦略2

### 外に開かれ、人と人が交わり、 つながり続けるまち

リモートワークの普及により、ワーケーションや在宅勤務など、様々な働き方が広がっています。地方創生に向けて「関係人口」<sup>※1</sup>の創出や拡大が進む中、金沢らしい新たな価値を生み出すためには、金沢の良さや市場価値がどこにあるかを認識するため、一人ひとりが、外部からの視点や意見を受け入れるオープンマインドを持つことが必要不可欠です。

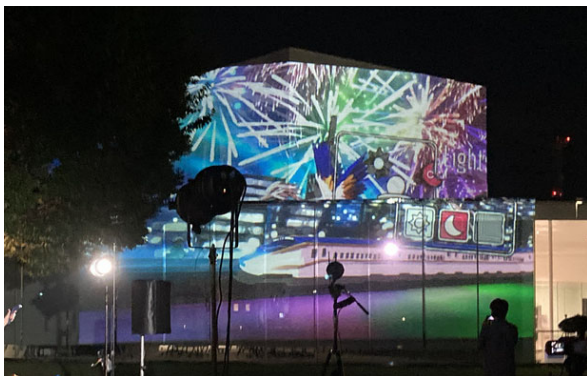
また、クリエイティブな人材は、まちに刺激を与え、化学反応を起こす端緒になるとともに、創造性の幅を広げ、高い付加価値を生み出す源泉となります。多様な人が交わり、集まり、つながり続けることができる環境を整えることで、金沢発のイノベーションの創出につなげていきます。

#### 取組方針

- (1) 北陸新幹線敦賀延伸等を見据え、最先端技術等を活用し、関係人口を創出・拡大
- (2) クリエイター・デザイナー・アーティスト等多様な人材を集積・活用

#### 施策イメージ

- いしかわ百万石文化祭 2023 (2023)、北陸新幹線敦賀延伸 (2024)、大阪・関西万博 (2025) 等の機会を捉え、最先端技術を活用した観光 PR の実施
- サテライトオフィス開設支援、金沢 AI ビレッジ<sup>※2</sup>形成促進等により、クリエイター・デザイナー・アーティスト等多様な人材を集積し、ビジネスにつなげる体制、仕組みの検討



金沢 21 世紀美術館でのアートイベント  
「5G Projection Art」



金沢未来のまち創造館での  
入居者交流会

#### キーワード

「関係人口の拡大」「オープンマインド」「ワーケーション」「サテライトオフィス」  
「持続可能な社会の構築」「移住促進」「クリエイター・デザイナー・アーティストの集積と活用」

※1 関係人口………移住した「定住人口」と観光に訪れる「交流人口」の間に位置付けられる概念で、地域と多様に  
関わる人々を指す。

※2 金沢 AI ビレッジ…金澤町家や中心市街地の建物等にクリエイター等の事業所が集積するもの。

## 戦略 3

### 進取性と多様性を受け入れ、 挑戦を支えるまち

変化が激しい今の時代、成長・発展していくためには、新たな市場や日々変容するニーズを的確に捉え、迅速に決断・対応していく必要があります。歴史や伝統、これまでの成功や考えにとらわれることなく、チャレンジ精神をもって、新たな取り組みに挑戦していくことから、新たな価値を生み出す可能性が芽生えるとも言えます。

学生、若者、女性をはじめとした多様な人材を受け入れ、活躍を促進していくとともに、起業や新たな学びの習得など、意欲あるチャレンジを支えることで、金沢らしい多様な産業が生まれ、結びつき、発展していく社会の実現につなげていきます。

#### 取組方針

- (1) 若者、女性をはじめとしたスタートアップを支援
- (2) 起業家教育、承継教育、リスキリング<sup>※1</sup>を促進

#### 施策イメージ

- 若年期からの起業家教育や承継教育の推進
- 若者や女性のスタートアップ創出
- 中小企業におけるリスキリングの促進



金沢市の女性起業家支援プロジェクト



中小企業の事業承継  
(イメージ)

#### キーワード

「学生・若者・女性活躍」「起業・事業承継促進」「リスキリング」「マインドセット<sup>※2</sup>」「チャレンジ精神」  
「スタートアップ創出」

※1 リスキリング……新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する（させる）こと。

※2 マインドセット…考え方の基本的な枠組み。ものの見方。思考・行動パターン。



## 戦略4

### 産学官金の連携により、 人と企業が育ち、集うまち

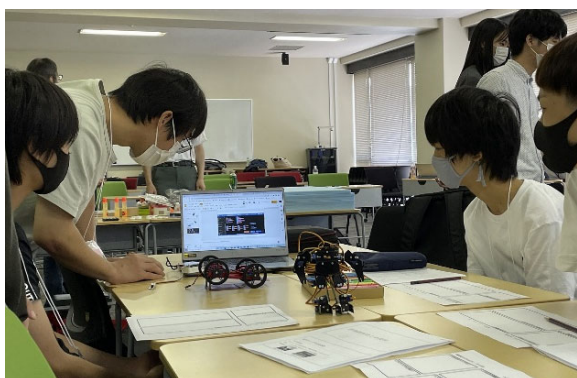
本市では、2021年8月に新たな価値を創造する拠点施設として、旧野町小学校舎に「金沢未来のまち創造館」を開館させ、新たな産業の創出と未来で活躍する人材の輩出に取り組んでいます。この活動をさらに推し進めるため、民間企業が持つノウハウや高い技術力、学都金沢に集積する大学等高等教育機関の研究シーズ、金融機関が持つ資金面からの支援と幅広いネットワークなどを相互に活用し、産学官金の連携をより強化するとともに、地域で生まれた価値を地域全体で応援する体制を整えることにより、金沢の未来を創り上げる産業人材の育成と輩出、企業の成長・発展につなげていきます。

#### 取組方針

- (1) 若年期からの産業人材を育成
- (2) 金沢未来のまち創造館の活用を推進

#### 施策イメージ

- 産学官金の連携により、高度なプログラミング技術やものづくり技術を幼少期から学ぶ環境整備
- 大学や企業を持つ最先端技術の知見を活用し、デジタル技術の社会実装を支援
- 金沢未来のまち創造館の活動推進  
(スタートアップ・新ビジネス創出、子供の独創力育成、食の価値創造事業の推進)



若年層を対象に情報活用能力を育成する  
「金沢 IT 部活」



大学と連携した市民生活への技術の実装  
「コード化点字ブロックを活用した  
AI音声誘導サービス」

#### キーワード

「産学官金連携」「金沢未来のまち創造館の活用」「未来の産業人材の育成・確保」

## 戦略5

### 金沢の「文化」と「産業」が融合して、高い付加価値を生み出すまち

都市間競争が激化している中、他都市との差別化を図る一つのキーワードが、世界に誇るべき金沢の「文化」です。「文化」を経済市場の活性化につなげる、「文化」を人材育成に活用するといった戦略は、「文化」を基盤として成長してきた本市産業が、金沢らしい本物の価値を高め、生み出し、成長する一つの方策と言えます。金沢美術工芸大学や金沢卯辰山工芸工房が持つ資源やポテンシャルを活用するなど、歴史に育まれた本市固有の「文化」を軸に、高い付加価値を生み出し、成長・発展するまちとして、シティブランドの強化につなげていきます。

#### 取組方針

- (1) 文化的市場の活性化を推進
- (2) 未知の技術や才能を可視化し、活用をプロデュースできる人材を育成

#### 施策イメージ

- デジタル技術を活用した文化、伝統工芸等の魅力発信
- 文化的市場の活性化を進める場や体制づくりの検討



金沢卯辰山工芸工房での  
アーティスト・イン・レジデンス※1



KOGEI Art Fair Kanazawa 2022

#### キーワード

「文化的市場の活性化」「金沢美術工芸大学の活用」「シティブランドの強化」  
「市民の文化に対する許容度の高さ」「技術の継承」

※1 アーティスト・イン・レジデンス……国内外のアーティストが一定期間、特定の場所に滞在し、制作活動を行うこと。

## (1) ビジョンの策定経緯

### 第1回 委員会

2022年11月10日

#### 【報告】

- ・委員会の設置目的
- ・新しいビジョン策定に向けた進め方
- ・現行ビジョンに掲げたプロジェクトの検証と総括

#### 【議題】

- ・新しいビジョンの策定に向けた方針、方向性について

2022年11月中旬～12月中旬

企業等へのヒアリング

### 第2回 委員会

2022年12月26日

#### 【報告】

- ・第1回委員会等における委員意見の要旨
- ・業界団体、企業ヒアリング調査の結果報告

#### 【議題】

- ・新しいビジョンの骨子（案）について

2023年1月18日～2月16日

パブリックコメント

### 第3回 委員会

2023年2月20日

#### 【報告】

- ・パブリックコメントの結果報告

#### 【議題】

- ・新しいビジョン（案）について



## (2) 市民や企業等へのヒアリング調査

委員及び業界団体、企業からの意見について5つのカテゴリに分け、整理しました。

### ① 企業等へのヒアリング

実施期間 2022年11月下旬～12月下旬

業界団体 8団体、企業 24社

対象業種 農業・林業、漁業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、宿泊業・飲食サービス業、学術研究・専門・技術サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、その他

#### 1

### 「リアルな場」と「デジタル技術」

- ・リアルな場所があるからこそ全く新しい価値が生まれる。「フィジカル」と「デジタル」をかけあわせた「フィジカル」により創造性を高めることが必要だ。
- ・インプット、アウトプットのプロセスはデジタル化されていくが、金沢はリアルのまちをめざすべき。アナログの技術を最高峰にしなければいけない。
- ・金沢の高級感は来てもらわなければわからない。来街者のみを感じるができる、という付加価値は残すべきである。
- ・デジタルはあくまでツールである。メタバースやNFTなども発信ツールの一つとして活用していくべき。VR空間はリアルの世界と繋がった人、繋がろうとしている人に対して、バーチャル空間でも継続的につながることができるツールである。
- ・デジタルでなければ表現できないこと、リアルでなければ表現できないことのバランスを取りながら、新たな技術を開発していく。両方それぞれの価値が横に並ぶのが理想だ。
- ・デジタル化に関心をもたない中小企業に、危機感や関心をもってもらうための仕掛けが必要だ。

#### 2

### 人のつながり、集積

- ・これからは関係人口を増やしていく時代だ。人の移動、交流が関係人口を介して大きくなることで、まちの成長につながる。北陸新幹線敦賀延伸などは非常に好機である。また、関係人口拡大はリアルの世界とバーチャルの世界のハイブリッド型で進めていくべきだ。
- ・スタートアップを地方都市で成功させるためには、ワーケーションやリモートオフィスの環境を整え、セカンドオフィスとして活用できることをPRすべきだ。
- ・外の人に「金沢ファン」になってもらい、「金沢の良さ」を発信してもらうことで、市内の人も、これまで気づけなかった「金沢の良さ」に気づかされる。
- ・クリエイターの集積は重要だが、仕事がないと意味がない。金沢は「クリエイターが食べていけるまち」、が一つのシティブランドである。
- ・工芸だけでなく、ファインアート（建築、彫刻、絵画、音楽など）や、デザインにも光を当てるべきである。

## 3

新たな  
チャレンジ、  
チャレンジする  
マインド

- ・今の時代、人の後についていく受け身体質では生き残れない。自ら動くチャレンジ精神が重要だ。歴史や伝統は大切だが、安住してしまうと、ゆでガエルのように衰えてしまう。
- ・起業家教育、事業承継教育を金沢のシティブランドと結びつけることが重要だ。
- ・地域で生まれたものは地域のみinnで発注・消費し、応援していくことが起業家たちを育てることにつながる。
- ・高度女性人材の育成、集積により、女性の労働資本性を高め、まち全体の生産性向上につなげるべきだ。高所得の女性を生み、引きつける、女性活躍は経済の問題である。
- ・卯辰山工芸工房や職人大学校の存在を考えると、金沢はリスキリングが得意なまちと言えるのではないか。

## 4

産学官金の  
連携、  
人材育成

- ・金沢の良さである産学官金の連携を推し進め、色々とところで新しいコラボレーションが起こればいい。
- ・今後、産学官金連携して、「アイデアを生む人材の育成」、「アイデアの発掘」、「アイデアを生む仮想空間の活用」といった施策が必要となるのではないか。
- ・デジタルの蓄積とものづくりをつなぐようなアプローチがあれば良い。金沢市には多様な業種があるため、横の連携を促進するような取り組みがあれば良い。
- ・金沢未来のまち創造館で新たな価値を生み出す人とそれをフォローしてサポートする体制をブーストさせる必要がある。
- ・金沢未来のまち創造館の活動を一次産業や二次産業に広げていくべきだ。また、小中学生に活動に触れてもらう機会をさらに提供していくべきだ。

## 5

文化的市場の  
活性化と産業化

- ・新しいテクノロジーが、文化価値を先鋭化する。
- ・多感な時期を金沢で過ごした美大の学生は金沢の良さも悪さもどちらも把握している。美大OBを活用し、新たな文化に目を向けても良いのではないか。
- ・都市間競争が激化しているため、「文化を市場の活性化につなげる」、「文化を人材育成につなげる」、という点に特化するという考えはある。
- ・金沢市では、子どもの頃から文化やアートに触れる機会を提供しているが、大人が文化にアクセスできるようにすべきだ。オフィスにアーティストやデザイナーなどクリエイティブな人が交わる仕組みがあれば良い。
- ・未知の技術や才能を可視化し、文化の活用をプロデュースできる人材が必要だ。

## ② ビジョン骨子案に関するパブリックコメント

実施期間 2023年1月18日～2月16日

募集方法 金沢市ホームページ「いいね金沢」への掲載や、金沢市情報コーナーと金沢市経済局産業政策課内に資料配置を行い、郵送、FAX、電子メール等による市民の意見を募集しました。

## 意見提出状況（意見提出者数：5名）

意見総数		6件
項目別の 市民意見	ビジョン（めざす姿）	1件
	戦略1	1件
	戦略2	2件
	戦略3	1件
	戦略4	0件
	戦略5	1件

## (3) 主なモニタリング指標（目標値）

本ビジョンの進捗状況を適切に把握するため、以下の指標などをモニタリングし、その結果を踏まえ、新たな施策の必要性や施策の修正などを検討してまいります。

指 標	2023年	2027年
■ 中小企業DX窓口相談件数（累計）	50件	250件
■ クリエイター・デザイナー・アーティスト等誘致件数 （金沢AIビレッジ形成促進事業採択件数（累計））	6件	10件
■ 起業にチャレンジする若者の支援件数（累計）	85件	125件
■ 金沢IT部活の部員数（累計）	63人	160人
■ 金沢クラフトインデックス登録件数	275件	295件



## (4) 金沢市新産業成長ビジョン策定委員会

氏名	所属等
出原 立子	金沢工業大学情報フロンティア学部 教授 総務省「Web 3時代に向けたメタバース等の利活用に関する研究会」構成員
金間 大介	金沢大学融合研究域融合科学系 教授
姜 理恵	法政大学デザイン工学部システムデザイン学科 教授
菊澤 智彦	株式会社北國銀行 執行役員 総合企画部長
杉本 亜美奈	フェルマータ株式会社 代表取締役
鶴山 庄市	一般社団法人金沢経済同友会 副代表幹事
豊田 欣吾	金沢学院大学経済学部 教授
富久尾 佳枝	金沢商工会議所女性会 会長
福光 松太郎 (座長)	一般社団法人金沢クラフトビジネス創造機構 理事長 金沢未来のまち創造館活動運営評議会 会長
宮内 康範	一般社団法人石川県情報システム工業会 新ビジネス創生部会 部会長
宮田 人司	金沢市デジタルミュージアム構築検討会 座長
本山 陽子	ガレリアポンテ 代表

(五十音順、敬称略)

# 金沢市新産業成長ビジョン

2023年3月発行

金沢市経済局産業政策課

金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2204

FAX (076) 260-7191

E-mail: [sansei@city.kanazawa.lg.jp](mailto:sansei@city.kanazawa.lg.jp)



金沢 KANAZAWA  
MIRAI NO MACHI CREATION CENTER  
未来のまち創造館